

# 市民文芸

## 短歌

阿南市文化祭秋季短歌大会選

入選

鹿島壽美子

淡水を蒲団のようにかぶりつつ蛭は厨でしゃべくる夜中

佳作

佐々木夫美

十人に十の意見のありて良し妥協と言う字の持ついじらしさ

佳作

森 ゆき子

「ボケるなよ！」一人暮しを始める子の旅立つ時に言いしひとこと

佳作

西崎まき子

倒伏の稲田見て立つ哀しみに追いうちかける不意の雷鳴

佳作

近藤美智子

彼岸花棚田めぐりて一斉にラインダンスの華やぎ見せて

佳作

近藤 久子

山里の休耕田に草もみじ波打つ稲穂の浮かび哀しも

佳作

米田 啓子

駆け足で昭和を生きし夫若し吾は令和をゆつくり歩む

佳作

湯浅佐智子

ふる里を想えと送りしすだちの木 東都の吾子に今年初成り

佳作

陶久 陽子

刈田にて物憂い鷺が二羽三羽離れて暮らすわが子もそうか

佳作  
ひとときの静寂のありて夕光は黄花コスモス  
明るう照らす  
高野カヨ子

## 俳句

阿南市俳句連合会選

立春や生きる遍歴重ねつつ

鎌矢美代女

寒の水桶満々と汲み置きて

加藤 和子

書く文字に音の生まれる初日記

平野 貞子

節分会鹿の子の帯は姉譲り

平 いち子

女関の五弁の椿人をまつ

富永 恵女

切株の苔のさみどり春隣る

庄野 早苗

土佐道へ潮の黒きや雛列車

浜田百合子

草の根へ春雨通る堤かな

水口 明美

戸袋に獣跡残る寒の明

田中 栄子

神木は伸び放題や宮の春

## 川柳

阿南川柳会 田上 鶴子選

魔法の手そんなお医者があつたなら  
西田 修身

交わりも必要だなと悟る線  
あの手この手詐欺にAI備えたい  
嬉しさを心に抱いて陽は昇る  
耳を貸すことも覚えて手をつなぐ  
かしこまで一氣に読ます女の手  
渡邊 浪漫  
佐藤つたえ  
二階千代美  
野村 敏子  
橋本 征介

## 一般応募

夢いっぱい未来を背負うランドセル  
喜寿すぎて八十への重みたんと知る  
お手をする仕草かわいい猫カフェ  
島尾美津子  
武田 敏子  
仁井 信子

## 漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

### 春日吟行

一詩欲作踏青之 一詩作らんと欲して 青を踏んで之く  
拈句忘歸脚又疲 句を拈り帰を忘れて 脚又疲る  
暫坐春畦暖煙裏 暫く春畦に坐す 暖煙の裏  
菜花散蝶誘童時 菜花蝶を散じて 童時に誘う  
荒瀬左知子

### 山徑逍遙

山徑逍遙爽旦天 山徑逍遙爽旦の天  
四時佳境洗塵緣 四時の佳境 塵縁を洗う  
由來獨愛林泉癖 由來 独り愛す 林泉の癖  
杖履能堪幾十年 杖履能く堪えたり 幾十年  
松原 伸夫

### 鳴門大橋渦之道

阿州臨海最東端 阿州の臨海 最東端  
千客來驚橋下瀾 千客來たり驚く 橋下の瀾  
飛鷗勿止危橋舸 飛鷗止る勿かれ 危橋の舸に  
必仄旋渦航路灘 必ず旋渦に仄く 航路の灘  
井関喜久子